



# 東北関東大震災関連 扶川敦 活動報告

## 震災当夜 松茂の避難所を訪問調査

3月11日震災発生当日、郡内でも松茂町と北島町で住民が津波を警戒し避難しました。

私は、避難活動が落ち着いたところを見計らって、松茂の津波防災センター内の避難所を訪問しました。

同避難所では、長原地区など沿岸住民が一時360人避難しました。

「家から14分で来たが、道路がふさがっていたらもつとかかる。南海地震が来たらどうなるか」と、不安げでした。

関係者の話では、日頃の訓練もあり混乱はありませんでした。

一方、「津波を見に行く人がかなりいた」「徒歩でなく車で来た人がたくさんいた」という指摘もありました。

沿岸部では、倒壊家屋が津波避難を妨げ、内陸部では、家屋倒壊による圧死が大半です。

住宅の耐震化は、喫緊の課題です。主に昭和56年以前の旧耐震基準による木造住宅が倒壊の危険が高く、耐震診断すれば、およそ7割は要改修です。

ところが、負担が重いため高齢者などは、工事に踏み切れず、危険が放置されています。

### 2月県議会一般質問

#### 実績少なすぎる 住宅耐震改修と耐震リフォーム

す。全県で改修が年百戸台、部分的に耐震化する耐震リフォームは、年数戸の実績のみ。

私は、任期最後の2月議会一般質問で、「木造住宅耐震改修助成制度の拡充とともに、経済対策にも役立つ住宅リフォーム助成制度の創設」を求めました。

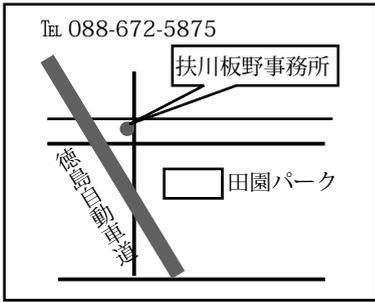
県は、「これまでの木造住宅の耐震化促進に加え、簡易な耐震化とあわせて実施するバリアフリーや省エネなどのリフォームの助成について、検討をすすめる」と答弁しました。

今回の大震災の教訓を生かし、沿岸住宅地の在り方など、さらに抜本的な対策を求めていきます。

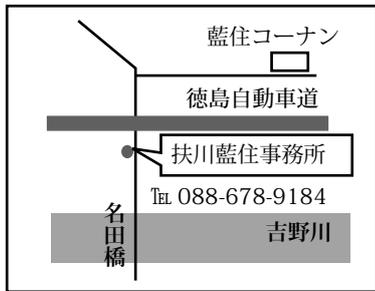
# 被災者を支援を



党徳島県委員会の震災支援義援金募金活動（13日徳島駅前）



## 党事務所でも義援金を受付中



お預かりした義援金は、日本共産党中央委員会を通して被災各県に渡され、被災者支援に使われます。